

ダニエル・グスタフソン国連食糧農業機関 (FAO) 事務局次長来日 第2回目・FAO年次戦略協議、食品ロス関連イベント等への出席

国連の食料・農業分野での筆頭専門機関である、国連食糧農業機関(FAO: Food and Agriculture Organization of the United Nations)から、平成30年1月28日から2月3日にかけて、ダニエル・グスタフソン事務局次長がローマのFAO本部から来日します。滞在中、日本政府関係者と意見交換を行うほか、明治大学での公開セミナーにて食料安全保障・栄養について講演し、外務省主催による食品ロス関連イベントに出席します。また、東日本大震災で被害を受けた宮城県にて農業・水産業関連施設を視察し、関係者と意見交換を行います。

報道機関の皆さまと事務局次長の個別インタビューの機会も予定しておりますので、詳細は下記担当者までお問合せください。なお、本行事に関する正式な事前報道発表及び各行事への取材登録のご案内は、平成30年1月中旬に行う予定です。**幅広いメディア関係者の皆様の取材をお待ちしております！**

お問合せ先： 外務省 経済安全保障課 TEL: 03-5501-8339 (担当 白石)

ただし、事務局次長の個別インタビューに関するお問い合わせは、FAO駐日連絡事務所 TEL: 045-222-1101 (担当 岡部)まで。



ダニエル・グスタフソンFAO事務局次長

1994年からFAOに勤務。モザンビーク農業省での事業に従事した後、FAOケニア、ソマリア、インド及びブータンの国事務所代表を務める。2007年、ワシントンD. C. にあるFAOの米国・カナダリエゾンオフィス代表、2012年にはFAO本部で分権化支援部(OSD)部長に就任し、FAOの国・地域事務所の強化とFAOの変革プロセスにおける分権化に関連した側面を支援。現職の前は、事務局次長(オペレーション)として、世界各国のFAO事務所やオペレーション関連部署を統括。アメリカ国籍。メリーランド大学にて博士号を取得。2015年には、インドのアチャルヤNGランガ農業大学から名誉博士号を授与された。

滞在中の日程(12月21日現在)：

※一部のイベントは非公開です。

平成30年 1月28日(日)	本邦到着
1月29日(月)	午後：国際協力機構(JICA)訪問、明治大学にて講演会
1月30日(火)	終日：第2回目・FAO年次戦略協議、外務省主催夕食会
1月31日(水)	午前：農林水産省関係者との面会及び意見交換、午後：民間企業との意見交換
2月 1日(木)	終日：宮城県にてイチゴ農園、トマト農園及び水産関連施設等訪問
2月 2日(金)	午後：外務省政務表敬及び食品ロス関連イベント、個別のメディア対応
2月 3日(土)	本邦出発

これまでの取組：

日本政府は、長年に亘り、世界の食料安全保障に大きな役割を果たすFAOとの協力関係を続けてきましたが、FAOとの協議の緊密化、FAOの活動に関する日本国内への情報発信の強化、FAOにおける邦人職員増強に向けた取組の強化等を中心に、FAOとの一層の関係強化に取り組んでいます。本年1月には、初めて日・FAO年次戦略協議を開催、5月には4年ぶりにグラツィアーノ事務局長が訪日しました。今般、グスタフソン事務局次長の訪日を機に、FAOとの更なる関係強化を進めます。

第1回目・FAO年次戦略協議 (平成29年1月)



1月にローマ・FAO本部にて初開催。FAOの運営や邦人職員増強問題の他、個別業務について包括的に協議。日本側は外務省と農水省の合同チームを形成。FAOの代表は、グスタフソン事務局次長。

グラツィアーノ事務局長訪日 (平成29年5月)



岸田外務大臣(当時)表敬

ふくしまスイーツ賞味会出席
：蘆浦副大臣(当時)出席



FAO親善大使任命
(中村氏・国谷氏)